



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ユナイテッドアローズ
コード番号 7606 URL <http://www.united-arrows.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 重松 理

問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部部长 (氏名) 中澤 健夫

四半期報告書提出予定日 平成22年11月11日 配当支払開始予定日

TEL 03-5785-6325
平成22年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	41,387	8.4	2,657	66.7	2,566	56.3	253	△59.1
22年3月期第2四半期	38,196	4.2	1,594	86.6	1,642	90.3	618	272.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	5.99	5.97
22年3月期第2四半期	14.65	—

(注)平成22年3月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在していないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	47,232	22,782	48.2	539.57
22年3月期	46,163	23,327	50.5	552.68

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 22,782百万円 22年3月期 23,327百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	10.00	—	18.00	28.00
23年3月期	—	10.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	16.00	26.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	90,612	8.5	6,409	29.7	6,338	25.8	2,283	62.7	53.46

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）
（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期2Q 42,800,000株 22年3月期 42,800,000株

② 期末自己株式数 23年3月期2Q 577,570株 22年3月期 591,970株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期2Q 42,221,958株 22年3月期2Q 42,208,069株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. その他の情報	P. 4
(1) 重要な子会社の異動の概要	P. 4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	P. 4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書	P. 7
【第2四半期連結累計期間】	
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(4) 継続企業の前提に関する注記	P. 10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 10
(6) その他の注記事項	P. 10
4. (参考) 四半期財務諸表(個別)	P. 12
(1) (参考) 四半期貸借対照表(個別)	P. 12
(2) (参考) 四半期損益計算書(個別)	P. 14
【第2四半期連結累計期間】(参考)(個別)	
5. 補足情報(・平成23年3月期第2四半期の個別売上概況について)	P. 15
(1) 全社売上高の状況	P. 15
(2) 業態別の売上状況	P. 15
(3) 既存店の状況(小売+通販)	P. 15
(4) 品目別の売上状況(ビジネスユニット計)	P. 15
(5) チャンネル別の売上状況	P. 15

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成22年4月1日から9月30日まで)におけるわが国経済は、政府の経済対策や海外経済の改善などを背景として、緩やかな改善基調にあるものの、急激な円高、株安、海外景気の下振れ懸念などの影響により、先行き不透明な状況が継続しております。

当社グループの属する衣料品小売業界におきましては、消費者の生活防衛意識が引き続き高く、低価格志向や慎重な消費傾向が継続したことに加え、記録的な猛暑により秋冬商品の動きが出遅れるなど、非常に厳しい環境が継続しております。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、「持続可能な収益体質を確立し、次の再成長へ向けた足場を固める」という経営方針のもと、構成する各会社および事業ごとの成長ステージに応じた施策および出店を実施することで、企業価値の向上に努めてまいりました。

株式会社ユニテッドアローズでは、3つの重点課題への取り組みを着実に推進いたしました。

「基本販売政策の再徹底」と「商品・販売部門の連携強化」による、強固な店舗運営体制の構築とさらなるお客様満足極大化の推進

「基本販売政策」とは、豊富な知識と確かな技術を持つ販売員による販売活動と、店舗環境やCRM活動といった店舗による販売活動を体系化したものです。

「商品プラットフォームの完成および活用推進」と、その上に乗せる「最適なMDバランスを伴う基本商品政策の再徹底」による、さらなる収益性向上

当社では、「MDプラットフォーム」と「生産プラットフォーム」を合わせて「商品プラットフォーム」と定義し、商品の調達・生産～投入～消化活動の土台となる考え方として推進しています。

「基本商品政策」とは、品揃えや商品開発理念といったファッションビジネスの根幹を成す考え方を定義し体系化したものです。

「あるべき業務の標準化」と「正しい運用の再徹底」による、さらなる生産性向上とお客様最適の組織・運営体制の構築

では、基本販売政策に基づき、ロールプレイングなどの店頭OJT活動を継続し、地道な接客力・販売力の強化を行なった他、店長研修の実施による店舗マネージメントの強化をいたしました。また、販売部門からの商品に関する要望を品揃えや商品企画に反映させる体制を強化するなど、商品・販売部門が連携した取り組みを強化いたしました。

では、商品プラットフォームの活用と定着を図るために、引き続き、全社ベースでの仕入、売上、粗利、在庫などの重要業績指標のモニタリングや分析を強化するとともに、業務のマニュアル化やスケジュールの可視化を推進いたしました。

では、部署間の業務精度の向上を目的に、優先順位を付けた10数項目の部署間の課題に対して、業務プロセスやルールの見直しなど個別の検討を実施いたしました。また、店舗運営の生産性向上のために、店舗における業務の負荷要因の洗い出しを行ない、個別検討を行なった他、一部店舗にレイバーコントロールシステム(生産性管理システム)をテスト導入いたしました。

出退店につきましては、当第2四半期連結累計期間においてユニテッドアローズ業態：1店舗の出店、グリーンレーベル リラクシング業態：2店舗の出店、クロムハーツ業態：1店舗の出店、スモールビジネスユニットおよびUアラボ：5店舗の出店、アウトレット：2店舗の出店を実施し、当第2四半期末時点の小売店舗数は146店舗、アウトレットを含む総店舗数は163店舗となりました。

連結子会社の株式会社フィーゴでは、直営11店舗を維持いたしました。

連結子会社の株式会社コーエン(決算月：1月)では、中期の成長けん引業態と位置付け、積極的な出店を実施しております。当第2四半期連結累計期間において4店舗の出店を実施し、当第2四半期末時点(平成22年7月末)の店舗数は30店舗となりました。

連結子会社の株式会社ペレニアルユニテッドアローズ(決算月：1月、以下「ペレニアル」)では、当第2四半期連結累計期間において1店舗を出店、1店舗を退店しており、当第2四半期末時点(平成22年7月末)での店舗数は6店舗となりました。なお、当社は平成22年4月23日、ペレニアルを解散することについて決議しております。既存の6店舗は平成22年9月末までに全て閉店いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高につきましては、主に単体において、主力業態であるユニテッドアローズ業態やグリーンレーベル リラクシング業態を中心に、小売既存店の売上高が回復し、413億87百万円(前年同期比8.4%増)となりました。売上総利益につきましては、220億69百万円(前年同期比12.9%増)となり、売上総利益率53.3%(前年同期比2.1ポイント増)となりました。これは主に単体において、商品プラットフォームの活用推進に伴う商品の調達・生産～投入～消化活動の業務精度が向上し、レギュラー店およびアウトレット店の売上総利益率が改善したことによるものです。販売費及び一般管理費につきましては、売上高・出店の増加に伴う賃借料の増加や自社オンラインサイトの1周年記念販促の実施など積極的な宣伝販促を行なうことで宣伝販促費が増加いたしました。また、全社的なコスト抑制などを行なうことにより、前年同期比8.2%増と売上高の伸びを下回り、194億11百万円となりました。

以上により、当第2四半期連結累計期間の営業利益は26億57百万円(前年同期比66.7%増)、経常利益は25億66百万円(前年同期比56.3%増)となりました。また、資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額として9億21百万円、店舗の移転、改装、退店に伴う減損損失3億19百万円など、合計13億円を特別損失に計上した結果、四半期純利益2億53百万円(前年同期比59.1%減)となりました。

(株)ユニテッドアローズ(7606) 平成23年3月期 第2四半期決算短信

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末と比較して635百万円(2.2%)増加の29,705百万円となりました。これは、商品が1,282百万円増加し、現金及び預金が288百万円、受取手形及び売掛金が40百万円、繰延税金資産が313百万円それぞれ減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して433百万円(2.5%)増加の17,527百万円となりました。これは、建物及び構築物が958百万円、差入保証金が48百万円それぞれ増加し、有形固定資産その他が358百万円、無形固定資産が219百万円それぞれ減少したことなどによります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末と比較して948百万円(4.9%)増加の20,354百万円となりました。これは、短期借入金が1,400百万円、支払手形及び買掛金が1,384百万円それぞれ増加し、未払法人税等が880百万円、賞与引当金が474百万円それぞれ減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して666百万円(19.4%)増加の4,096百万円となりました。これは、資産除去債務が1,748百万円増加し、長期借入金が1,088百万円減少したことなどによります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末と比較して545百万円(2.3%)減少の22,782百万円となりました。これは、配当金の支払などにより利益剰余金が516百万円減少したことなどによります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間の業績は、平成22年10月29日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載のとおり、営業利益、経常利益、四半期純利益が当初の予想を上回る数値となりましたが、平成23年3月期通期の業績予想については、厳しい外部環境が続くと予想されるため、通期における連結および個別の見通しは据え置くことといたします。

2. その他の情報

- (1) 重要な子会社の異動の概要(連結の範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
該当事項はありません。
- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要
該当事項はありません。
- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,885	4,173
受取手形及び売掛金	267	308
商品	17,995	16,712
貯蔵品	172	191
未収入金	5,818	5,809
その他	1,606	1,916
貸倒引当金	39	42
流動資産合計	29,705	29,069
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,416	5,458
その他(純額)	1,685	2,043
有形固定資産合計	8,102	7,502
無形固定資産		
のれん	-	159
その他	1,962	2,022
無形固定資産合計	1,962	2,182
投資その他の資産		
差入保証金	6,334	6,285
その他	1,131	1,128
貸倒引当金	4	4
投資その他の資産合計	7,461	7,409
固定資産合計	17,527	17,094
資産合計	47,232	46,163
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,054	7,670
短期借入金	3,640	2,240
1年内返済予定の長期借入金	2,176	2,176
未払法人税等	850	1,731
賞与引当金	1,021	1,495
店舗閉鎖損失引当金	300	418
その他	3,311	3,673
流動負債合計	20,354	19,406
固定負債		
長期借入金	2,244	3,332
役員退職慰労引当金	91	91
資産除去債務	1,748	-

(株)ユニテッドアローズ(7606) 平成23年3月期 第2四半期決算短信

(単位:百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
その他	11	6
固定負債合計	4,096	3,429
負債合計	24,450	22,835
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,030	3,030
資本剰余金	4,095	4,095
利益剰余金	16,602	17,119
自己株式	887	909
株主資本合計	22,840	23,335
評価・換算差額等		
其他有価証券評価差額金	5	1
繰延ヘッジ損益	53	6
評価・換算差額等合計	58	7
純資産合計	22,782	23,327
負債純資産合計	47,232	46,163

(株)ユニテッドアローズ(7606) 平成23年3月期 第2四半期決算短信

(2) 四半期連結損益計算書
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	38,196	41,387
売上原価	18,654	19,317
売上総利益	19,541	22,069
販売費及び一般管理費	17,946	19,411
営業利益	1,594	2,657
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	-	3
仕入割引	15	18
為替差益	23	22
その他	94	55
営業外収益合計	134	101
営業外費用		
支払利息	77	57
支払手数料	-	109
その他	9	26
営業外費用合計	86	192
経常利益	1,642	2,566
特別利益		
固定資産売却益	-	1
店舗閉鎖損失引当金戻入額	-	92
特別利益合計	-	94
特別損失		
固定資産除却損	22	54
減損損失	70	319
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	921
その他	-	4
特別損失合計	92	1,300
税金等調整前四半期純利益	1,549	1,360
法人税、住民税及び事業税	819	786
法人税等調整額	112	321
法人税等合計	931	1,107
四半期純利益	618	253

(株)ユニテッドアローズ(7606) 平成23年3月期 第2四半期決算短信

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,549	1,360
減価償却費	579	663
無形固定資産償却費	146	155
長期前払費用償却額	39	40
減損損失	70	319
のれん償却額	159	159
賞与引当金の増減額(は減少)	100	474
店舗閉鎖損失引当金の増減額(は減少)	-	118
貸倒引当金の増減額(は減少)	2	2
受取利息及び受取配当金	0	4
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	921
支払利息	77	57
有形固定資産除却損	1	5
有形固定資産売却損益(は益)	-	1
売上債権の増減額(は増加)	68	185
たな卸資産の増減額(は増加)	626	1,263
その他の流動資産の増減額(は増加)	14	156
仕入債務の増減額(は減少)	827	1,384
その他の流動負債の増減額(は減少)	53	309
その他の固定負債の増減額(は減少)	2	9
その他	-	0
小計	2,823	2,933
利息及び配当金の受取額	0	4
利息の支払額	72	58
法人税等の支払額又は還付額(は支払)	354	1,731
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,397	1,148
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	6	49
投資有価証券の取得による支出	4	-
有形固定資産の取得による支出	470	806
無形固定資産の取得による支出	105	98
長期前払費用の取得による支出	44	51
差入保証金の差入による支出	96	48
有形固定資産の売却による収入	-	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	728	1,054

(株)ユニテッドアローズ(7606) 平成23年3月期 第2四半期決算短信

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	600	1,400
長期借入金の返済による支出	1,165	1,088
自己株式の取得による支出	0	-
自己株式の処分による収入	-	11
配当金の支払額	629	755
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,194	432
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	474	338
現金及び現金同等物の期首残高	3,322	4,061
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,796	3,723

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
該当事項はありません。

(6) その他の注記事項

(連結貸借対照表関係)

当社においては、自己株式の公開買付けに係る資金の調達を行うため取引銀行株式会社三菱東京UFJ銀行とコミットメント期間付タームローン契約を締結しております。

当第2四半期連結会計期間末におけるコミットメント期間付タームローン契約に係る借入未実行残高等は次のとおりであります。

コミットメント期間付タームローンの総額	10,800百万円
借入実行残高	100百万円
差引額	10,700百万円

(株)ユニテッドアローズ(7606) 平成23年3月期 第2四半期決算短信

(自己株式の取得および自己株式の公開買付け)

当社は、平成22年8月30日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条第1項及び当社定款の規定に基づき、自己株式の取得を行うことを決議し、自己株式の取得を以下のとおり実施いたしました。

(1)自己株式の取得を行う理由

経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を遂行するため、自己株式を取得するものであります。

(2)取得内容

取得する株式の種類	当社普通株式
取得の方法	公開買付け
取得した株式の総数	10,700,000 株
取得価額の総額	10,700百万円
取得の期間	平成22年8月31日(火曜日)から平成22年11月8日(月曜日)まで
決済日	平成22年10月7日(木曜日)

(3)主要株主の異動について

主要株主である株式会社エーピーシー・マートは、今回の公開買付けに応募した結果、主要株主ではなくなりました。

(株)ユニテッドアローズ(7606) 平成23年3月期 第2四半期決算短信

4. (参考) 四半期財務諸表(個別)

(注) この四半期財務諸表(個別)は、四半期財務諸表等規則に基づき当社が任意で作成したものです。

(1) (参考) 四半期貸借対照表(個別)

(単位:百万円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年9月30日現在)	前事業年度末に係る要約貸対照表 (平成22年3月31日現在)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,477	2,900
受取手形及び売掛金	34	41
商品	17,242	15,921
貯蔵品	172	171
未収入金	5,438	5,454
その他	5,533	3,988
貸倒引当金	1,595	26
流動資産合計	29,303	28,451
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,896	5,038
その他(純額)	1,618	1,979
有形固定資産合計	7,515	7,017
無形固定資産	1,875	1,921
投資その他の資産		
差入保証金	5,869	5,752
その他	3,278	3,272
貸倒引当金	4	4
投資その他の資産合計	9,143	9,020
固定資産合計	18,533	17,959
資産合計	47,837	46,410

(株)ユニテッドアローズ(7606) 平成23年3月期 第2四半期決算短信

(単位：百万円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年9月30日現在)	前事業年度末に係る要約貸対照表 (平成22年3月31日現在)
負債の部		
流動負債		
買掛金	8,523	6,951
短期借入金	3,640	800
1年内返済予定の長期借入金	2,176	2,176
未払法人税等	747	1,668
賞与引当金	967	1,428
債務保証損失引当金	162	1,736
その他	3,190	3,427
流動負債合計	19,405	18,188
固定負債		
長期借入金	2,244	3,332
役員退職慰労引当金	87	87
資産除去債務	1,582	
その他	11	6
固定負債合計	3,925	3,425
負債合計	23,331	21,614
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,030	3,030
資本剰余金	4,095	4,095
利益剰余金	18,326	18,588
自己株式	887	909
株主資本合計	24,564	24,804
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5	1
繰延ヘッジ損益	53	6
評価・換算差額等合計	58	7
純資産合計	24,505	24,796
負債純資産合計	47,837	46,410

(株)ユニテッドアローズ(7606) 平成23年3月期 第2四半期決算短信

(2) (参考) 四半期損益計算書 (個別)
【第2四半期累計期間】(参考) (個別)

	(単位:百万円)	
	当第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	前事業年度に係る要約個別損益計算書 (自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)
売上高	38,843	78,657
売上原価	18,284	38,238
売上総利益	20,558	40,419
販売費及び一般管理費	17,798	34,627
営業利益	2,759	5,792
営業外収益		
受取利息	4	7
受取配当金	3	
為替差益	24	31
関係会社業務受託料	22	71
その他	75	196
営業外収益合計	131	307
営業外費用		
支払利息	56	133
支払手数料	109	
その他	25	22
営業外費用合計	190	156
経常利益	2,700	5,943
特別利益		
有形固定資産売却益	0	
債務保証損失引当金戻入額	4	
主要株主株式短期売買利益返還益		138
特別利益合計	4	138
特別損失		
固定資産除却損	51	117
減損損失	314	530
関係会社株式評価損		100
債務保証損失引当金繰入額		1,736
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	870	
特別損失合計	1,236	2,485
税金等調整前四半期(当期)純利益	1,468	3,596
法人税、住民税及び事業税	683	2,484
法人税等調整額	277	898
法人税等合計	960	1,585
四半期(当期)純利益	507	2,011

(株)ユニテッドアローズ(7606) 平成23年3月期 第2四半期決算短信

5. 補足情報

・平成23年3月期第2四半期累計期間の個別売上概況について

前第2四半期累計期間：(自平成21年4月1日至平成21年9月30日 6ヶ月)

当第2四半期累計期間：(自平成22年4月1日至平成22年9月30日 6ヶ月)

(1) 全社売上高の状況 (単位:百万円、%)

	前第2四半期累計(A)	当第2四半期累計(B)	増減額(B) - (A)	増減率
全社売上高	36,234	38,843	2,608	7.2

(2) 業態別の売上状況 (単位:百万円、%)

	前第2四半期累計(A)	当第2四半期累計(B)	増減額(B) - (A)	増減率
U A 業態	16,474	17,528	1,053	6.4
G L R 業態	6,644	7,328	683	10.3
C H 業態	1,933	2,223	290	15.0
S.B.U. およびUAラボ	5,718	6,259	540	9.5
ビジネスユニット計	30,770	33,339	2,568	8.3
その他	5,464	5,503	39	0.7

1. S.B.U. = Small Business Unit

2. 各ビジネスユニットに含まれる売上高は、小売、卸売、通販等であり、「その他」に含まれる売上高は、アウトレット等であります。

(3) 既存店の状況(小売 + 通販) (単位:%)

	売上高増減率	客数増減率	客単価増減率
U A 業態	4.2	5.2	2.5
G L R 業態	5.2	9.8	4.9
C H 業態	5.9	6.8	0.9
S.B.U. およびUAラボ	1.2	0.9	0.6
ビジネスユニット計	3.2	5.6	3.8

客数、客単価は、小売から算出しております。

(4) 品目別の売上状況(ビジネスユニット計) (単位:百万円、%)

	前第2四半期累計(A)	当第2四半期累計(B)	増減額(B) - (A)	増減率
メンズ	11,313	12,048	734	6.5
ウィメンズ	14,801	16,128	1,326	9.0
シルバー & レザー	2,551	2,882	330	13.0
雑貨等	2,102	2,279	176	8.4
ビジネスユニット計	30,770	33,339	2,568	8.3

シルバー & レザーとは「CHROME HEARTS」ブランドの銀製装飾品および皮革製ウェアであります。

(5) チャネル別の売上状況 (単位:百万円、%)

	前第2四半期累計(A)	当第2四半期累計(B)	増減額(B) - (A)	増減率
北海道・東北地区	1,276	1,287	11	0.9
関東(東京以外)地区	4,535	4,710	174	3.9
東京地区	12,565	13,473	907	7.2
甲信越・北陸・東海地区	2,523	2,530	7	0.3
関西地区	3,970	4,424	454	11.5
中国・四国・九州地区	2,625	2,707	82	3.1
小売合計	27,496	29,133	1,637	6.0
通販	2,732	3,780	1,047	38.3
卸等	542	425	116	21.5
その他	5,464	5,503	39	0.7
全社売上高	36,234	38,843	2,608	7.2